

平成24年度

財政健全化審査意見書
経営健全化審査意見書

いなべ市監査委員

い 監 査 第 1 3 3 号
平成 2 5 年 8 月 1 3 日

いなべ市長 日 沖 靖 様

いなべ市監査委員 羽 場 恭 博
いなべ市監査委員 鈴 木 順 子

平成 2 4 年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に係る審査
意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成 19 年法律第 94 号）第 3 条
第 1 項及び第 22 条第 1 項の規定により審査に付された、健全化判断比率及び資
金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類について審査を行
ったので、別添のとおり意見を提出します。

目 次

財政健全化審査意見書

1 審査の対象	1
2 審査の期間	1
3 審査の方法	1
4 審査の結果	1
(1) 総合意見	1
(2) 個別意見	2
(3) 是正改善を要する事項	2

経営健全化審査意見書

1 審査の対象	3
2 審査の期間	3
3 審査の方法	3
4 審査の結果	3
(1) 総合意見	3
(2) 個別意見	4
(3) 是正改善を要する事項	4

平成24年度財政健全化審査意見書

1 審査の対象

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により算定された平成24年度決算における健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

2 審査の期間

平成25年8月9日から平成25年8月13日まで

3 審査の方法

この財政健全化審査は、市長から提出された平成24年度決算における健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼とし、各会計の歳入歳出決算書、関係書類等と照合するとともに、関係職員から説明を聴取し審査を行った。

4 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

健全化判断比率	平成24年度	平成23年度	平成22年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	－ %	－ %	－ %	12.89 %
② 連結実質赤字比率	－ %	－ %	－ %	17.89 %
③ 実質公債費比率	8.9 %	9.9 %	10.9 %	25.0 %
④ 将来負担比率	－ %	9.5 %	39.8 %	350.0 %

※①②④は、実質赤字及び将来負担は生じていないため「－」と表記した。

(2) 個別意見

① 実質赤字比率について

平成 24 年度の実質赤字比率は、実質収支額が黒字であったため、該当比率の値はなし（表記は「－」）となる。結果、早期健全化基準の 12.89% を大幅に下回り、良好な状態であると認められた。

② 連結実質赤字比率について

平成 24 年度の連結実質赤字比率は、実質黒字又は資金剰余の状況であったため、当該比率の値はなし（表記は「－」）となる。結果、早期健全化基準の 17.89% を大幅に下回り、良好な状態であると認められた。

③ 実質公債費比率について

平成 24 年度の実質公債費比率は 8.9% で、平成 23 年度に比べ 1.0 ポイント改善されている。この主な要因は、水道事業会計や下水道事業特別会計等の元利償還金に充てた繰出額の減少により、元利償還金等が前年度比約 1 億円減少したものである。なお、早期健全化基準の 25.0% と比較するとこれを 16.1 ポイント下回り、良好な状態であると認められた。

④ 将来負担比率について

平成 24 年度の将来負担比率は、下水道事業特別会計等の補償金免除繰上償還により元利償還の将来負担が軽減されたことと、財政調整基金及び市債管理基金が前年度比 25 億円大きく積み増したことにより、充当可能財源が将来負担額を上回ったため、当該比率の値はなし（表記は「－」）となる。結果、早期健全化基準の 350.0% と比較するとこれを大幅に下回り、良好な状態であると認められた。

(3) 是正改善を要する事項

指摘すべき事項は特にない。

平成24年度経営健全化審査意見書

1 審査の対象

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により算定された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

平成24年度いなべ市水道事業会計

平成24年度いなべ市下水道事業特別会計

平成24年度いなべ市農業集落排水事業特別会計

2 審査の期間

平成25年8月9日から平成25年8月13日まで

3 審査の方法

この経営健全化審査は、市長から提出された平成24年度決算における資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼とし、各会計の歳入歳出決算書、関係書類等と照合するとともに、関係職員から説明を聴取し審査を行った。

4 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

記

資金不足比率

公営企業会計	平成24年度	平成23年度	平成22年度	経営健全化基準
いなべ市水道事業会計	－ %	－ %	－ %	20.0 %
いなべ市下水道事業特別会計	－ %	－ %	－ %	20.0 %
いなべ市農業集落排水事業特別会計	－ %	－ %	－ %	20.0 %

※ 資金不足は生じていないため、資金不足比率は「－」で表記した。

(2) 個別意見

水道事業会計並びに下水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計の平成 24 年度における資金不足比率は、それぞれの会計において資金不足額が生じていないため、当該比率の値はなし（表記は「－」）となる。したがって経営健全化基準の 20.0%を大きく下回り、良好な状態であると認められた。

(3) 是正改善を要する事項

指摘すべき事項は特にない。